

小雀公園 里山通信



Vol.2 伐採木を利用した土留



小雀公園は林の中の園路が多いので、他の公園と比べて舗装されていない土のままの園路が多いです。舗装された道とは違い、足の裏で土の柔らかさやデコボコを感じて歩くのはとても面白いですし、転ばないように気を付けて歩かなければ！と脳や体幹をきたえるのにも役立ちます。けれども雨が降ると、ぬかるんでしまって歩きにくかったり、土が流れてしまったりと、困ることも多いです。

そこで小雀公園で実践しているのは、丸太を使った土留です。園路や路肩に丸太を埋め込むことで、雨で土が流れてしまうのを防いだり、滑り止めの役割をしてくれます。

山や林を管理する際に、時として木を根元から伐採することもあります。それは自然を破壊しているのではなく、いっぱい生えている木を間引いて残った木を大きく育てるためであったり、新たに芽を吹かせて木を若返らせたりする働きもあります。そんな時に切った木をゴミとして処分するのではなく、土留として活用したり、林の中に積み置きして生き物たちの隠れ場や棲み処にすることで、人にも生き物にも環境にも優しい管理につながります。

ただ、こういった作業は非常に時間がかかり、あっちもこっちももっとやればいいのにも思われるかもしれませんが、普段の管理作業の合間にコツコツと少しずつ進めていくしかありません。いろいろ苦労しながら作業しているんだろうなあと思いながら、温かい目で見守ってくださいね。



↑実はこんなにたくさんの丸太が埋め込まれているのです！

水がゆるやかに蛇行して流れるようにしています→



小雀公園 ☎045-853-1945

<https://midocomi.com/Kosuzumepark.html>

横浜市指定管理者 緑とコミュニティーグループ

